

# 病 院 増 床 事 前 協 議 書

(新須磨リハビリテーション病院)

## 病院増床事前協議書

### 1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏名		医籍番号		
住所	TEL			
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区分	開 設 ・ 管 理 ・ 勤 務		
	施設の種類	病 院 ・ 診 療 所	病 床 数	一 般 療 養 精 神 結 核 床
	名称			
	所在地			
	診療科目			

(開設者が法人である場合)

法人の種類	医療法人社団	設立年月日	昭和35年12月28日		
名称	慈恵会				
主たる事務所の所在地	神戸市須磨区磯馴町4丁目1番6号 TEL078-735-0660				
代表者	氏名	澤田勝寛	住所		
法人の目的、事業	病院、診療所及び介護老人保健施設を経営し、科学的かつ適正な医療及び疾病・負傷等により寝たきりの状態にある老人に対して必要な医療等を提供する。				
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名称	所在地	病床数	備考
	病院	新須磨病院	神戸市須磨区衣掛町3-1-14	147床	
	病院	新須磨リハビリテーション病院	神戸市須磨区友が丘7-1-31	44床	
	診療所	新須磨クリニック	神戸市須磨区村雨町5-1-4	0	
	診療所	新須磨透析クリニック	神戸市須磨区衣掛町4-2-20	0	

自己資本比率 (医療法人の場合)	平成28年3月期 21.8%
---------------------	----------------

2. 増床の内容に関する事項

(1) 基本的事項

名 称	新須磨リハビリテーション病院		
開 設 の 場 所	神戸市須磨区友が丘7丁目1番31号		
増 改 築 予 定 年 月	平成29年10月		
診 療 科 目	旧	リハビリテーション科、内科、整形外科	
	新	同上	
病 床 数	旧	44床(一般44床・療養床・精神床・結核床)	
		病床機能区分(医療法施行規則第30条の33の2)による分類 (高度急性期床、急性期床、回復期44床、慢性期床)	
	新	56床(一般56床・療養床・精神床・結核床)	
		病床機能区分(医療法施行規則第30条の33の2)による分類 (高度急性期床、急性期床、回復期56床、慢性期床)	
病床の利用内容 (看護単位ごとに)	旧	14室44床 利用率95%	室 床 利用率 %
		室 床 利用率 %	室 床 利用率 %
	新	14室44床 利用率95%	室 床 利用率 %
		3室12床 利用率95%	室 床 利用率 %
増床の理由及び 病床数設定の考え方  ・提供する医療の内容 ・当該地域の医療事情 ・近隣医療機関との連携等	基準看護又は新看護の内容		基準看護15:1
	規則第30条の32第1項の規定による特例		有(号床)・ <input checked="" type="checkbox"/>
	・回復期医療の提供 ・急速な高齢化により在宅支援のための医療が求められている。 ・新須磨病院、神戸医療センター、神戸市立医療センター西市民病院等と連携し、回復期医療の提供を行う。		

敷地の状況 (増築する場合)	面 積	2,419.03㎡	
	自己所有予定の場合	取得の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 取得済 ・ 取得交渉中 ・ 未交渉
		交渉状況	
	自己所有予定でない場合	所有者	
使用形態		賃貸借 ・ その他 ( )	
他法令解除の必要性	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 内容 ( )		
建物	構造概要	RC造 地上3階地下1階建 延床面積2,884.64㎡	
	所有予定者	医療法人社団慈恵会 理事長 澤田勝寛	

の 状 況  (増築 する 場合)	自己所有予定 でない場合の 使用形態	賃貸借 ・ その他 [ ]
-------------------------------------	--------------------------	---------------

(2) 施設及び設備に関する事項

増改築内容

棟・階	変 更 前		変 更 後		備 考 (設備等)	
	用 途	面 積	用 途	面 積		
地下1階	事務室 同上	80.00㎡ —	スタッフルーム 事務室	62.90㎡ 17.10㎡		
1階	自販機コーナー	7.50	倉庫(薬局)	4.29	廊下拡張	
	WC3 同上	7.50 —	リネン庫 リネン庫	1.40 1.40	廊下拡張	
	WC(W)	13.35	WC(W)	14.70		
	訪問看護ステーション スタッフ控室 WC4	47.40 (トイレ含)	病室102号室 HWC	32.10 5.20	廊下拡張	
	訪問看護ステーション WC5	50.38	病室103号室 WC	37.32 4.26	廊下拡張	
	スタッフルーム 応接室 地域連携室 倉庫3 TELコーナー	48.99 14.40 16.00 2.87 3.53	デイルーム ナースステーション 病室101号室	45.63 8.08 34.88		
	医事課 薬局 受付 薬局受付 待合ホール	18.32 12.50 8.00 4.00	医事課 薬局 待合ホール	22.09 20.73	受付を取込	
	2階	食堂兼談話室(押入含) リネン庫	95.36 5.20	デイルーム	100.56	
		事務室1 事務室2 多目的室	8.87 11.25 53.09	院長室 宿直室 多目的室1	10.68 11.25 27.20	廊下一部取込



病室一覧(変更前)

入院施設	病棟名・階数	図面上の室名	内法床面積 (m <sup>2</sup> )	採光面積 (m <sup>2</sup> )	開放面積 (m <sup>2</sup> )	病床数	一床あたりの床面積	備考(病床種別・廊下幅等)
	2階	201	32.63	6.54	2.74	4	8.15	一般
	〃	202	33.12	6.54	2.74	4	8.28	〃
	〃	203	33.74	6.54	2.74	4	8.43	〃
	〃	204	33.32	6.54	2.74	4	8.33	〃
	〃	205	32.42	6.54	2.74	4	8.10	〃
	〃	206	32.43	6.54	2.74	4	8.10	〃
	〃	207	33.32	6.54	2.74	4	8.33	〃
	〃	208	33.70	6.54	2.74	4	8.42	〃
	〃	209	33.32	6.54	2.74	4	8.33	〃
	〃	210	15.81	2.74	1.37	1	15.81	〃
	〃	211	19.04	3.79	1.37	1	19.04	〃
	〃	212	19.75	3.79	1.37	1	19.75	〃
	〃	213	16.38	2.74	1.37	1	16.38	〃
	〃	214	34.44	6.54	2.74	4	8.61	〃
	計	14室				44		

- 注) 1 変更する項目を青線で囲み込むこと。  
 2 病棟(看護単位)毎に病床数を計欄に記載すること。  
 3 床面積は、内法で測定し、面積は小数点第2位まで記載すること。(第3位切り捨て)  
 4 採光面積について、採光補正係数を用い採光有効面積を算定する場合、備考欄に補正後の数値を部屋毎に記載すること。  
 5 開放面積について、機械換気による場合は、備考欄にその旨を部屋毎に記載すること。  
 6 変更がない病棟についても作成すること。

病室一覧(変更後)

入 院 施 設	病棟名 ・階数	図面上 の室名	内法床面積 (㎡)	採光面積 (㎡)	開放面積 (㎡)	病床 数	一床あたり の床面積	備考(病床種 別・廊下幅等)
	2階	201	32.63	6.54	2.74	4	8.15	一般
	〃	202	33.12	6.54	2.74	4	8.28	〃
	〃	203	33.74	6.54	2.74	4	8.43	〃
	〃	204	33.32	6.54	2.74	4	8.33	〃
	〃	205	32.42	6.54	2.74	4	8.10	〃
	〃	206	32.43	6.54	2.74	4	8.10	〃
	〃	207	33.32	6.54	2.74	4	8.33	〃
	〃	208	33.70	6.54	2.74	4	8.42	〃
	〃	209	33.32	6.54	2.74	4	8.33	〃
	〃	210	15.81	2.74	1.37	1	15.81	〃
	〃	211	19.04	3.79	1.37	1	19.04	〃
	〃	212	19.75	3.79	1.37	1	19.75	〃
	〃	213	16.38	2.74	1.37	1	16.38	〃
	〃	214	34.44	6.54	2.74	4	8.61	〃
	1階	101	34.88	8.87	4.20	4	8.72	〃
	〃	102	32.10	8.28	4.96	4	8.02	〃
〃	103	37.32	10.99	5.05	4	9.33	〃	
計	17室				56			

- 注) 1 変更する項目を朱線で囲み込むこと。  
 2 病棟(看護単位)毎に病床数を計欄に記載すること。  
 3 床面積は、内法で測定し、面積は小数点第2位まで記載すること。(第3位切り捨て)  
 4 採光面積について、採光補正係数を用い採光有効面積を算定する場合、備考欄に補正後の数値を部屋毎に記載すること。  
 5 開放面積について、機械換気による場合は、備考欄にその旨を部屋毎に記載すること。

(3) 人員に関する事項

人 員 配 置 計 画									
職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人 員	職 名	必 要 数		予 定 数	確 保 済 人 員
	前	後				前	後		
医 師	2.813	3.438	4人	3人	薬 剤 師	1	1	3人	3人
看 護 師	15	19	29人	16人	栄 養 士	0	0	2人	2人
准 看 護 師					放 射 線 技 師				
看 護 補 助 者	0	0	9人	9人	調 理 師				
臨床(衛生)検査技師					事 務 員			7人	7人
理学療法士			16人	14人	そ の 他			7人	7人
作業療法士			16人	12人	計	22.638		93人	73人

\*その他の内訳 言語聴覚士 5人、社会福祉士 2人

(4) 人員算定根拠 (計算式)

(基 本 項 目)	(前)	(後)
一般病床入院患者数 (1日平均)	43人	53人
外来患者数 (1日平均)	15人	15人
外来取扱処方箋枚数 (1日平均)	15枚	15枚

【医師】 (前)  $\{43 + (15 \div 2.5) - 52\} \div 16 + 3 = 2.8125 \div 2.813$

(後)  $\{53 + (15 \div 2.5) - 52\} \div 16 + 3 = 3.4375 \div 3.438$

【看護師】 (前)  $(43 \div 3) + (15 \div 30) = 14.8333 \div 15$

(後)  $(53 \div 3) + (15 \div 30) = 18.1666 \div 19$

【薬剤師】 (前)  $(43 \div 70) + (15 \div 75) = 0.8142 \div 1$

(後)  $(53 \div 70) + (15 \div 75) = 0.9571 \div 1$

【栄養士】 0



(5) 関係者との協議に関する事項

関係者	協議状況
地元医師会	神戸市保健医療審議会医療専門分科会病床整備検討委員会の病床配分通知書を提示し、12床増床が認められたことを説明した。今後、神戸市との事前協議終了後、病院建物の構造設備の変更許可申請をすることを説明し別紙意見書のとおり了承を得た。
市保健医療審議会 医療専門分科会	次回、神戸市保健医療審議会医療専門分科会にて審議を受ける予定。
その他	

注) 地元医師会、医療専門分科会については、意見書等を添付すること。

須磨区医師会 第 130 号  
平成 29 年 2 月 28 日

医療法人社団慈恵会  
理事長 澤田 勝 寛 様

須磨区医師会  
会長 松井 誠 一 郎



医療法人社団慈恵会 新須磨リハビリテーション病院の  
増床に係る事前協議について

平成 29 年 2 月 13 日付で依頼のありました標記のことに係る事前協議に  
ついては、協議内容のとおり承認します。

新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	新須磨リハビリテーション病院	所在地	神戸市須磨区友が丘7丁目1番31号		
電話番号	078-795-9123	二次医療圏域名	神戸	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色（提供しようとする医療の内容）

(1) 医療の分野について（対象患者、診療科目等について）

回復期リハビリテーションを必要とする患者

・リハビリテーション科 ・ 内科 ・ 整形外科

(2) 医療の専門性について（設備・医療スタッフ等についても記入すること。）

回復期リハビリテーションに特化した医療の提供を行う。

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区 名
神戸	須磨区

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

須磨区とりわけ北須磨支所管内では、高齢化に伴う高齢者医療の需要が高まり、病気療養後在宅での有意義な生活を送れるよう、回復期リハビリテーション医療を提供することによって支援していく。

(3) 既存の医療機関について、（特に、提供しようとする医療が同じものについて）

① 病院の状況について

名 称	病床数	診療科目	役割分担等についての方策	備 考
名谷病院	112床	外、整形、リハ他	特になし	
神戸医療センター	304床	内、外、整形他	急性期医療の受け皿として	
西市民病院	358床	内、外、整形他	急性期医療の受け皿として	
新須磨病院	147床	内、外、脳外他	急性期医療の受け皿として	
尾原病院	98床	内、透析他	特になし	

② 診療所の状況について

周辺には、約30の診療所があるが、概ね良好な関係が築かれている。

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

回復期医療の必要な患者 年間222人（実人員）

2025年に神戸圏域で一番高齢化する須磨地区は、回復期病床の必要性に迫られる。

## 2. 医療のシステム化

### (1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

回復期リハビリテーションに特化した医療の提供  
増床を機に極近隣のかかりつけ医としての機能の提供

### (2) 医療機関との連携

医療機関名	内 容	具 体 例	医療機関名	内 容	具 体 例
新須磨病院	①、③	脳疾患、運動器疾患			
神戸医療センター	②	後方支援			
西市民病院	①、③	後方支援			
尾原病院	①				

〈注〉内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送  
④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助  
⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

### (3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
いきいきの郷	入所者の急変時の医療対応	
北須磨訪問看護リハビリ	回復期医療終了後の在宅生活支援・リハビリの提供	

〈注〉医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設  
(老人関係、精神関係、身障関係)等が考えられる。

### (4) 地域保健医療活動等への参加 (住民の健康管理等)

地域連携会議への参加  
(構成メンバー：地元自治会、居宅事業、訪問看護、介護事業所等)

## 4. その他の特記事項

特記すべき事項なし。

## 開 設 に 要 す る 資 金

資金計画

(単位：千円)

項 目	所 要 額	自己資金	借 入 金		リース	備 考
			播州信用金庫			
土地購入費						
計画管理費	3,024	3,024				
建物建設費	70,416	416	70,000			内部造作工事
医療機器購入費						
什器備品購入費	4,150	4,150				ベッド、点滴カクテル台他
構築物						
保証金						
諸税						
開設時運転資金	3,000	3,000				広告、印刷
その他費用	車輛運搬具					
計	80,590	10,590	70,000			

返済計画

金融機関名	返 済 条 件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据 置 期 間	償 還 回 数 年 回 ×	利 率 %						
播州信用金庫	なし	年12回×5年	1.2%	元本	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
				利息	756	588	420	252	84
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
合 計				元本	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
				利息	756	588	420	252	84
年度末借入金残額					56,000	42,000	28,000	14,000	0

損益的収支予算書 (総括)

(単位：千円)

	初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
I 医業収益	738,802	761,483	776,616	776,616	776,616
II 医業費用	671,827	678,514	686,667	692,637	698,900
医業利益(医業損失)	66,975	82,969	89,949	83,979	77,716
III 医業外収益	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
IV 医業外費用	756	588	420	252	84
経常利益(経常損失)	67,419	83,581	90,729	84,927	78,832
V 特別利益	0	0	0	0	0
VI 特別損益	0	0	0	0	0
税引前当期利益(税引前当期損失)	67,419	83,581	90,729	84,927	78,832
当期純利益(当期純損失)	51,912	64,357	69,861	65,394	60,701
前期繰越利益(前期繰越損失)	0	51,912	116,269	186,130	251,524
当期末処分利益(当期末処理損失)	51,912	116,269	186,130	251,524	312,225

資本的収支予算書

(単位：千円)

		初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
資本的支出	建設改良費	0	0	0	0	0
	借入金(元本)償還	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
	固定資産購入費その他	0	0	0	0	0
	計	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
財源内訳	内部資金	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
	借入金	0	0	0	0	0
	補助金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	計	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
財源不足額		0	0	0	0	0

平成 29 年 4 月 27 日  
新須磨リハビリテーション病院

## 病床整備検討委員会の病床配分に係る「意見」に対する考え方

### 【意見】

人員体制については、高齢患者の増加に伴う看護師の負担増とならないよう、現行の看護基準を上回る 13 対 1 の配置を検討されたい。

### 【方針】

病床整備検討委員会の意見を尊重し、入院基本料 13 対 1 を届出る方向で考えたい。

ただ、56 床に増床して病院使用を開始する時点で、13 対 1 入院基本料の施設基準に必要な看護師が確保できていない場合は、取り敢えず 15 対 1 でスタートし、看護師の確保が出来た時点で 13 対 1 の届出を行いたい。